

第40回オーロラセミナー

主催 触媒学会北海道地区
 共催 日本化学会北海道支部
 日時 7月22日(土)13時30分~23日(日)13:40
 (日本化学会北海道支部夏季研究発表会の終了時間の関係で
 若干開始時間が遅くなりました。)
 会場 講演会:大沼国際セミナーハウス(七飯町大沼、0138-67-3960)
 ポスターセッション:かんぼの宿 大沼(七飯町西大沼、0138-67-2326)
 参加費 一般12,000円,学生8,000円(ポスタ-発表者は1,000円割引いたします)
 連絡先 〒040-8567 函館市八幡町1-2
 北海道教育大学函館校 中村秀夫
 Tel & Fax: 0138-44-4287
 E-mail: hnakamur@cc.hokkyodai.ac.jp

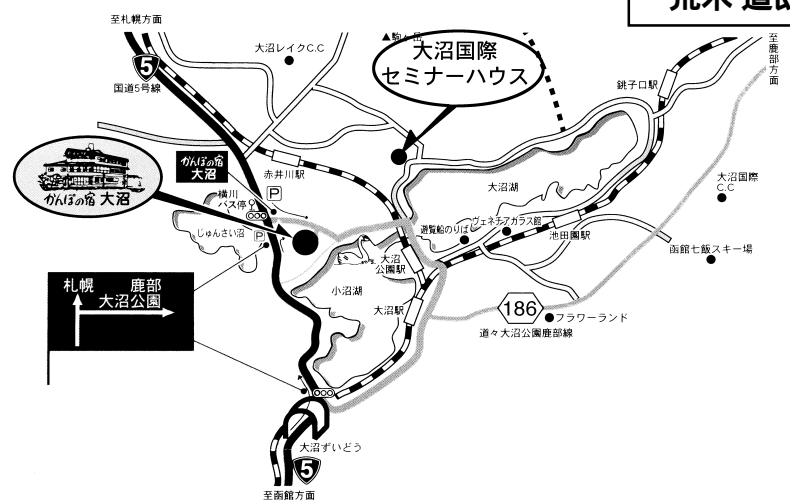
触媒学会
 北海道地区報

毎年恒例のオーロラセミナーを開催いたします。今回は第一線でご活躍中の下記の皆様をお招きし、ご講演いただくことになりました。また、学生・若手研究者を中心としたポスター発表も例年通り行います。全国的にも名高い大沼公園を会場に、爽やかな北海道の夏をお楽しみいただきながら、講師や参加者との十分な討論・親睦がはかれるよい機会と存じます。

オーロラセミナープログラム

7/22(土)
 13:40 オーロラセミナー開始
 13:50-15:00 特別講演(1)
 時間分解XAFSと触媒構造解析
 (北大触媒セ)朝倉清高
 15:00-16:10 特別講演(2)
 酵素化学法による新規な複合糖質のデザイン
 (北大院理)西村紳一郎
 終了後、簡保の宿へ移動
 18:00頃 夕食
 19:30-20:30 ポスターセッション
 20:30- 懇親会
 7/23(日)
 9:30-10:40 特別講演(3)
 反応と分離 - 多相系触媒反応
 (北大院工)荒井正彦
 10:40-11:50 特別講演(4)
 水中有機合成化学を実現する固相担持触媒の開発
 (分子研)魚住泰広
 記念撮影後に解散

会場案内図



No. 114

当番

中村 秀夫

hnakamur@cc.hokkyodai.ac.jp

次回

荒木 道郎

ポスターセッションプログラム

- | | |
|---|---|
| <p>P01 荒山 岳人 室工大(葛蒲研)
水素還元、酸素酸化にともなうRe,Ce添加銀触媒表面の化学状態変化のXPSによる観察</p> <p>P02 田中 孝枝 北教大函(荒田研)
「クリプトンTPDによる固体酸の酸強度測定」</p> <p>P03 黒政 盛夫 北見工大(多田研)
Al+C_nH_m反応による水素及び炭化物の生成 - Al粉末の反応性と物性 -</p> <p>P04 茶木 勇博 北大工(荒井研)
担持鉄触媒上でのN₂O接触還元 - 炭化水素の還元能の比較 -</p> <p>P05 藤嶋 佳子 北大触セ(市川研)
FSM-16メソ細孔の表面修飾による金属錯体の固定化反応性</p> <p>P06 秋田 具伸 北大地環(奥原研)
Pd-Cu触媒による水中硝酸イオンの水素還元除去</p> <p>P07 高橋 大志 北見工大(多田研)
炭化水素を用いたNO選択接触還元 - 炭素共存下でのアルミナの活性 -</p> <p>P08 川村 ゆう紀 北教大函(荒田研)
固体超強酸を用いた向山アルドール反応</p> <p>P09 荒木 秀暢 北大触セ(市川研)</p> | <p>CVD法によるFSM-16メソ細孔結晶及び薄膜内Auナノ粒子・細線の合成</p> <p>P10 橋本 義人 室工大(葛蒲研)
アルミナ固体ルイス超強酸上への貴金属の担持と二元触媒機能</p> <p>P11 ブラシウス ハンコソ 北見工大(多田研)
炭化水素を用いたNO選択接触還元 - Ag/Al₂O₃触媒上のNO_x吸着に対するNa及びSの影響 -</p> <p>P12 梅田 宜良 北大工(荒井研)
担持金属触媒上でのNO-CO反応に対する共存酸素の影響”</p> <p>P13 鈴木 哲生 北大地環(奥原研)
固体酸上でのn-butane骨格異性化機構</p> <p>P14 宮崎 秀紀 北教大函(荒田研)
高活性な硫酸担持酸化スズの調製と酸強度評価</p> <p>P15 下条 嘉和 北見工大(多田研)
触媒反応を利用した耐熱性電磁波吸収体の製造</p> <p>P16 Paresh L. Dhepe 北大触セ(市川研)
Preparation of SiO₂ supported Rh catalyst using supercritical fluid(2). Application to hydroformylation reactions.</p> <p>P17 高橋 基 北見工大(多田研)
Ni担持固体酸触媒を用いたオレフィン低重合活性</p> |
|---|---|